

ハンゴンノウ(反魂草)



萩の里自然公園は、鹿の食害で深刻な状態なのですが、なぜかこの花は食べません。人は新芽の頃アクヌキをしてから食べることがありますが、鹿はアクヌキの方法を知らないのでしょう。でも、油断はできません。(晴枝武一)

外来生物とは？

外来生物とは、もともとその地域にいなかったのに、人間の活動によって他の地域から入ってきた生物です。動物に限らず、両生類や昆虫、植物も対象になり、白老町内でも多くの種類が確認されています。

白老町にいる外来生物（一部）

- アメリカザリガニ（甲殻類）
- ミシシippアカミミガメ（は虫類）
（別名 ミドリガメ）
- セイタカアワダチソウ（植物）



外来生物の中でも、生態系や他の生物等へ特に影響を及ぼすおそれのあるものを「特定外来生物」として指定されています。

白老町にいる特定外来生物（一部）

- アライグマ（哺乳類）
- セイヨウオオマルハナバチ（昆虫）
- オオアワダチソウ（植物）



特定外来生物法で禁止されていること

特定外来生物をきたまま、他の場所に移動し、放す行為は禁止されています。

また、植物の種を他の人にあげたり、別の場所に植えたりすることも禁止されています。

外来種による被害を予防するために

現在、飼育や栽培している外来種は、野に放したり、逸出させずに適切な管理が重要です！

問い合わせ先：生活環境課 環境グループ 82-2265

かんきょう

秋号（第36号） 2021年9月15日発行



はす(安平町)

会員募集

白老町環境町民会議では会員を募集しています。
環境に関する皆さんの意見・要望をお待ちしています。

※ 詳細は、事務局までお問合せください。

☎82-5110

編集・発行

白老町環境町民会議

住所 白老町大町1丁目1番1号
電話 82-5110
FAX 82-4253
Eメール katudo@shiraoi-mc.jp

新規会員 小林光男

良い環境をと願うなら一人ひとり
意識をもって日々の生活の中で

「汚さぬ」心掛けを持ちたい

世界的に温暖化が急進しているのか、ある国では森林枯れ、おまけに森林火災が発生し砂漠化が進み、集中豪雨による被害も発生し、土砂崩れ、大洪水が街を埋める災害が多発しているように見えます。

私達の幼い頃より確実に生活環境も変化しています。人類の生活が各エネルギーによって便利になり高度成長しました。その反面、急増する二酸化炭素と共に海洋汚染が広がっています。日本の国土は3分の2を森林が占めています。温室効果ガスを出さない脱炭素に向けて二酸化炭素を吸収する森林の重要性は増えています。水源を涵養し、山崩れや洪水を防ぐ機能もあります。動植物は全て、この自然の中で生きているのです。

環境の改善も、そこに住む人みんなが小さな活動で日々積み重ねることが大切だと思います。5Sを活かして美しい自然を守り育てましょう。5Sとは（整理・整頓・清掃・清潔・躰）です。

格言1つ

ゴミ1つ捨てる者は大切なものを1つ捨てている

ゴミ1つ拾う者は大切な物を1つ拾っている

ヨコストクリーンアップ事業

今年度は中止

8月28日に開催予定だったヨコストクリーンアップ事業は、北海道内にコロナによる緊急事態宣言が出されたため、急きょ中止となりました。

会員はじめ、白老東高校、役場職員、ヨコスト湿原友の会会員等、数十名の参加が見込まれておりました。

当会議役員と事務局で毎月行なっている海岸パトロールの際にゴミ拾いもしていますが、全ては拾いきれません。何か良い手立てはないでしょうか。



8月31日の海岸パトロール

ひと



今回は、社台在住の谷瀬幸治さんです。

谷瀬さんは、社台平和会（久保一美会長）が管理する社台駅裏の花壇で毎日のように草取りや花がら摘みに汗を流しています。また、旧社台小学校グラウンドの花壇は、まきば会を通して管理しています。

